

令和3年度

教育功勞者功績概要

千葉県教育委員会

1 教育行政の部

白井市教育委員会教育長 井 上 功

平成28年、白井市教育委員会教育長に就任し、現在に至る。卓越した見識と豊富な経験を生かし、老朽化した学校施設の改修工事や空調設備の設置、ICT機器の整備等、教育環境の充実に努めた。また、「学力向上」「体力向上」「ICT推進」を3つのプロジェクトとし、市内各学校が共通認識を持ち、課題解決を図ることができるよう、各学校の教員からなるプロジェクトチームを編成し、適切な指導・助言を与えた。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

東庄町教育委員会教育長 五十嵐 正 憲

平成28年、東庄町教育委員会教育長に就任し、現在に至る。卓越した見識と経験を活かし、町内5校を1校とする小学校の統廃合を実施し、教育環境の充実に努めた。さらに、町内2園の幼稚園を統合し、幼稚園型認定こども園を設置し、幼小中の連携教育に尽力した。また、最新設備を備えた新学校給食共同調理場を建設し供用を開始した。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

元茂原市教育委員会委員 齋 藤 晟

平成22年、茂原市教育委員会委員に就任。平成24年から委員長を1年、平成28年から教育長職務代理者を4年務めた。卓越した見識と豊富な経験を生かし、茂原市の教育振興に尽力した。次世代を担う子供の健全な育成と地域のより良い教育環境の整備を推進するため、学校再編基本計画をはじめとした教育施策へ適切な指導・助言を与えた。この間、千葉県市町村教育委員会連絡協議会会長を務めるなど、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

鴨川市教育委員会委員 根 本 新太郎

平成22年、鴨川市教育委員会委員に就任し、現在に至る。また、平成25年から平成28年まで委員長を務めた。卓越した見識と豊富な経験を生かし、小中学校の統合、学校施設の耐震改修、空調設備設置、学校給食の調理・配送業務の委託やICT教育を推進するためのタブレット端末、校務支援システムの導入を実施し、教育環境の整備に取り組んだ。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

鋸南町教育委員会委員 山 野 正 人

平成22年、鋸南町教育委員会委員に就任し、現在に至る。卓越した見識と豊富な経験を活かし、小学校統合、学童保育所と幼稚園舎の建設、更にICT環境整備など教育環境の充実に努めた。子育て支援の拡充として、県内では初となる幼稚園の保育料無償化、中学生までの給食費の無償化を推進した。また、平成28・29年度には、安房地区教育委員会連絡協議会会長を務めるなど、地方教育行政の振興に尽力し、本県の教育の進展に寄与した功績は大である。

2 学校保健の部

八千代市立村上小学校学校医 佐久間 龍 良

昭和51年、八千代市立村上小学校等学校医に就任。以来、八千代市立勝田台小学校等、八千代市内複数校の学校医に就任し、現在に至るまで、定期的に園学校へ赴き、園児児童生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等、学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康の保持増進に積極的に取り組んだ。また、八千代市医師会理事を務め、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

船橋市立行田西小学校学校医 近 藤 博 重

昭和51年、船橋市立行田西小学校学校医に就任。以来、船橋市立葛飾中学校、船橋市立旭中学校学校医に就任し、現在に至るまで、定期的に学校へ赴き、児童生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等、学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康の保持増進に積極的に取り組んだ。また、船橋市医師会理事を務め、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

柏市立旭小学校学校医 染 谷 達 郎

昭和54年、柏市立西原中学校学校医に就任。以来、柏市立旭小学校、柏市立田中北小学校学校医に就任し、現在に至るまで、定期的に学校へ赴き、児童生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等、学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康の保持増進に積極的に取り組んだ。また、柏市医師会理事を務め、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

東金市立東小学校学校医 今 井 史 規

昭和52年、東金市立東小学校等学校医に就任。以来、東金市立東金中学校等、東金市内複数校の学校医に就任し、現在に至るまで、定期的に学校へ赴き、児童生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等、学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康の保持増進に積極的に取り組んだ。また、山武郡市医師会理事、副会長を歴任し、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

市原市立辰巳台東小学校学校医 高 博 明

昭和51年、市原市立若宮小学校学校医に就任。以来、市原市立辰巳台東小学校学校医に就任し、現在に至るまで、定期的に学校へ赴き、児童の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等、学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康の保持増進に積極的に取り組んだ。本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉市立高洲第四小学校学校医 瀬 古 康 子

昭和50年、千葉市立高洲第四小学校等学校医に就任。以来、千葉市立高洲第二中学校等、千葉市内複数校の学校医に就任し、現在に至るまで、定期的に学校へ赴き、児童生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等、学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康の保持増進に積極的に取り組んだ。本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

匝瑳市立八日市場第一中学校学校医 守 正 英

昭和47年、八日市場市立第一中学校学校医に就任。以来、同市立中央小学校等、匝瑳市内複数校の学校医に就任し、現在に至るまで、定期的に学校へ赴き、児童生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等、学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康の保持増進に積極的に取り組んだ。また、匝瑳医師会理事、副会長、会長を歴任し、千葉県医師会理事等を務め、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

元千葉県立市川工業高等学校学校歯科医 佐 野 正 俊

昭和49年、市川市立南行徳小学校学校歯科医に就任。以来、千葉県立市川工業高等学校等、市川市内複数校の学校歯科医に就任し、平成31年3月に至るまで、45年の長きにわたり、歯科健康診断を行うなど、児童生徒の健康の保持・増進に積極的に取り組んだ。特に学校保健の重要性を認識し事業に取り組むなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

元松戸市立中部小学校学校歯科医 町 山 恵 子

昭和60年、松戸市立中部小学校学校歯科医に就任。以来、令和3年3月に至るまで、36年の長きにわたり、歯科健康診断はもとより、歯科相談・口腔衛生指導を行うなど、児童の健康の保持・増進に積極的に取り組んだ。また、松戸歯科医師会理事として、会員に歯科保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

元君津市立坂畑小学校学校歯科医 平野稔夫

昭和48年、君津市立坂畑小学校学校歯科医に就任。以来、君津市立松丘小学校等、君津市内複数校の学校歯科医に就任し、令和3年3月に至るまで、48年の長きにわたり、歯科健康診断はもとより、歯科相談・口腔衛生指導を行うなど、児童生徒の健康の保持・増進に積極的に取り組んだ。また、君津木更津歯科医師会理事、専務理事、副会長を歴任し、会員に歯科保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

元千葉市立幕張東小学校学校歯科医 鏡 宣 昭

昭和54年、千葉市立花見川第五小学校等学校歯科医に就任。以来、千葉市立幕張東小学校学校歯科医、千葉市立園生小学校学校歯科医に就任し、平成28年3月に至るまで、37年の長きにわたり定期歯科健康診断を通して児童生徒の健康の保持・増進に積極的に取り組んだ。特に学校保健の重要性を認識し事業に取り組むなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

松戸市立第六中学校学校歯科医 本 多 道 明

昭和50年、松戸市立馬橋小学校学校歯科医に就任。以来、松戸市立第六中学校等、松戸市内複数校の学校歯科医に就任し、現在に至るまで、46年の長きにわたり、歯科健康診断を行うなど、児童生徒の健康の保持・増進に積極的に取り組んだ。また、松戸歯科医師会専務理事、副会長及び千葉県歯科医師会理事、専務理事を歴任し、会員に学校保健の重要性を説き、後進の育成をするなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

山武市立松尾中学校学校歯科医 真 壁 力

昭和56年、松尾町（現山武市）立松尾中学校学校歯科医に就任。以来、千葉県立松尾高等学校等、山武市内複数の学校、園の学校歯科医に就任し、現在に至るまで、40年の長きにわたり、歯科健康診断はもとより、歯科相談・口腔衛生指導を行うなど、園児児童生徒の健康の保持・増進に積極的に取り組んだ。また、山武郡市歯科医師会専務理事、副会長、会長等を歴任し、会員に学校保健の重要性を説き後進の育成をするなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

元富津市立天羽小学校学校薬剤師 松 井 和 子

昭和45年、富津市立竹岡小学校（現富津市立天羽小学校）学校薬剤師に就任。以来、同市立金谷小学校（現同市立天羽小学校）学校薬剤師に就任し、令和2年3月に至るまで、50年の長きにわたり、卓越した知識と優れた技術を持って、学校環境衛生検査を実施した。その結果に基づき、常に児童のために学校環境整備や管理について指導・助言を行うなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

3 芸術・文化の部

(1) 個人の部

千葉県美術会常任理事 湯野川 恵

玉川大学において陶芸を学び、卒業後、陶芸家の故加藤鈔（1927-2001）に師事。日展、千葉県美術展覧会（県展）を中心に作品を発表し、千葉県美術展覧会（県展）では、平成元年に最高賞の県展賞を受賞。同年には県展の実行委員を、平成2年以降は県展工芸部門の審査員を務める。平成12年に千葉県美術会理事に、平成28年から千葉県美術会常任理事に推挙される。県展及び県美術会の発展や後進の指導育成に尽力し、工芸（陶芸）を通じて本県の芸術文化の発展に寄与した功績は大である。

千葉県合唱連盟理事長 鬼島 孝子

平成14年に千葉県合唱連盟の理事に就任後、副理事長を経て、令和2年より理事長を務める。毎年の千葉県合唱祭をはじめとする主催行事を実行し、本県の合唱文化の普及振興に尽力した。特に、千葉県合唱祭は毎年60以上の団体が出演する連盟最大の事業であり、さまざまな年齢層の団体が一つの舞台に出場できる機会を設け、県民が合唱音楽を発表できる機会をつくることで、本県の音楽文化の普及振興に大きく貢献するなど、文化芸術を通じて、本県の文化芸術振興に寄与した功績は大である。

千葉県民謡協会理事長 天童 秀将

平成3年に千葉県民謡協会の理事に就任後、常務理事を経て令和元年より理事長を務める。主要行事である千葉県民謡民舞祭を実施することで、様々な年齢の演者による演奏や、少年少女合同演技が行われる等、多くの県民が民謡に触れる機会を作ることで本県の民謡文化の普及振興に尽力した。また米国での民謡の演奏や、地域に伝わる伝統民謡の普及のため全国大会を開催することで、本県の伝統文化の保存及び普及に大きく貢献するなど、文化芸術を通じて本県の文化芸術振興に寄与した功績は大である。

千葉県文化財保護審議会委員 笹生 衛

日本考古学、日本宗教史を専門とし、平成24年から10年にわたり千葉県文化財保護審議会委員を務めた。主に有形文化財（考古資料）及び史跡分野において重要な提言を行い、山倉1号墳出土埴輪の千葉県有形文化財（考古資料）の指定や、椎津城跡の千葉県史跡指定において重要な役割を果たした。また、平成17年から富津市文化財審議会委員、平成24年から木更津市文化財保護審議会委員、平成25年から袖ヶ浦市文化財審議会委員を務め、本県の文化財保護に寄与した功績は大である。

千葉県文化財保護指導委員 杉山 奈津子

平成14年より現在に至るまで、20年の長きにわたって千葉県文化財保護指導委員として、主に安房地区に所在する国指定文化財や埋蔵文化財包蔵地の巡視活動に従事している。巡視にあたっては、鴨川市域での埋蔵文化財調査の経験や、日本史の専門的な知識に基づいて適切な報告を行うとともに、文化財の保護・保存に尽力されてきた。現在も千葉県文化財保護指導委員として、継続して精力的に従事しており、本県の文化財保護に寄与した功績は大である。

野田市文化財保護審議会委員 萩原 法子

日本民俗学を専門とし、「おびしゃ」を中心とした無形民俗文化財に造詣が深く「いちかわ民俗誌」などの著作がある。平成5年から同23年まで八千代市文化財審議会委員、平成21年から同27年まで千葉市文化財保護審議会委員を務め、平成18年から野田市文化財保護審議会委員、同24年から柏市文化財保護委員会委員、同26年から市川市文化財保護審議会委員を歴任し、無形民俗文化財の分野を中心に重要な提言を行っており、本県の文化財保護に寄与した功績は大である。

流山市文化財審議会会長 小川 浩

民俗学研究者として、民俗伝承や民具などの調査を数多く行い、その成果の多くは各地の市史等の記載に反映され、地域の民俗の記録として貴重な資料となっている。平成4年より流山市文化財審議会委員として、民俗分野を中心に重要な提言を行うとともに、平成28年からは同審議会会長の重責を担い、審議会運営にも尽力している。また、平成9年からは鎌ヶ谷市文化財審議会委員も務めており、本県の文化財保護に寄与した功績は大である。

(2) 団体の部

多古町文化協会

平成5年の設立以来、多古町内にある各種文化団体相互の親睦と研修につとめ、多古町文化の発展と町民の生涯学習の推進を目的に活動をし続け、同市の文化振興の基盤を支えてきた。毎年文化祭において書道、陶芸、写真などの展示や、ダンス、民謡、合唱などの発表を行うことで、多くの町民による日頃の文化芸術活動の成果発表の場、交流を深める場とすることに努め、また、平成8年から千葉県芸術文化団体協議会に加盟し、更に活動の幅を広げるなど、本県の芸術文化振興に寄与した功績は大である。

我孫子の文化を守る会

我孫子の文化を守る会は、我孫子の自然と文化遺産を守り新しい文化の発展に資することを目的に、昭和55年7月に発足した。以来、我孫子市内の文化財の保存や顕彰にかかる活動をし続け、現在、100名ほどの会員が在籍している。主な活動は、年6回の会報の発行を行うほか、史跡などへの理解を深める「散歩の会」や文化講演会などを活発に実施している。令和2年には、市民からの寄附を募って「嘉納治五郎先生の像」（朝倉文夫作）を嘉納治五郎別荘跡に建立した。こうした長年にわたる活動により、本県の文化財の保護に寄与した功績は大である。

上高根敬愛講社

房総半島西部は出羽三山信仰が盛んな地域で、中でも市原市上高根地区は、典型的な三山信仰をよく残す集落である。出羽三山への参詣を果たした行人によって敬愛講社が構成され、行屋と呼ばれる施設に集って祈祷し、囲炉裏を囲んで共同飲食を行うほか、梵天供養と呼ばれる儀礼などが引き継がれている。こうした習俗は「上高根の三山信仰」として平成13年3月30日に県指定無形民俗文化財に指定され、伝承団体である上高根敬愛講社が、本来の形態を保ちながら伝統を守り続けており、本県の文化財保護に寄与した功績は大である。

4 社会教育の部

(1) 個人の部

前千葉県PTA連絡協議会会長 岡部 成行

平成21年、野田市立岩木小学校PTA副会長に就任。以来、PTA活動に熱心に取り組み、平成23年から野田市立小中学校PTA連絡協議会の副会長として活躍した。千葉県PTA連絡協議会においては、平成27年から4年間監事・副会長を歴任した後、令和元年から2年間会長を務めた。会長在任中は、千葉県や千葉県教育委員会の様々な会議に出席し、小中学校のPTAの代表としての的確な意見を積極的に発言、提案する等、本県の社会教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県子ども会育成連合会会長 黒坂 典雄

昭和55年から現在に至るまで40年にわたり、子ども会活動に取り組む。船橋市北部地区、船橋市において同連絡協議会の会長を務めた後、平成18年から千葉県子ども会育成連合会の理事、副会長を歴任する。また、平成26年から現在に至るまで会長を務め、会の運営や青少年育成に尽力している。さらに、平成30年から千葉県青少年団体連絡協議会会長も務めるなど、本県の青少年育成活動並びに本県の社会教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県社会教育委員連絡協議会会長 二宮 義文

平成13年に袖ヶ浦市社会教育委員に就任後、副委員長、委員長を歴任した。平成27年から29年にかけては、君津地区社会教育委員連絡協議会会長を務めるなど、20年間の長きにわたり、袖ヶ浦市のみならず君津地区の社会教育の振興に貢献した。千葉県社会教育委員連絡協議会においては、平成28年から令和元年まで副会長を務め、令和2年から現在に至るまで会長として、県内600名以上の各市町村社会教育委員のリーダーとして活躍し、本県の社会教育の進展に寄与した功績は大である。

日本ボーイスカウト千葉県連盟理事長 片平 紀行

少年期よりスカウト活動に参加し、指導者として多方面にわたり活躍している。現在の成人指導者の多くが氏の指導を受け、要職に就くなど、スカウト活動への貢献度は高い。日本連盟では平成13年から16年間トレーナーを務め、指導者の訓練に尽力した。県連盟では、平成20年から副コミッショナー、同25年から業務執行理事、同30年から副理事長を歴任し、令和3年より理事長として活躍するなど、本県の社会教育の進展に寄与した功績は大である。

日本ボーイスカウト千葉県連盟地区代表理事 関 口 陽 市

昭和42年入団の後、現在まで54年間の永きにわたり、所属する団、地区、県連盟に奉仕し、多くの指導者の育成、並びに多くの青少年の健全育成に多大な貢献をしている。千葉県連盟上総地区では、コミッショナー、指導者養成委員長及び進歩委員長を務め、優秀な指導者を輩出した。千葉県連盟では、昭和56年から副コミッショナー、平成25年から地区代表理事を務め、会の運営に携わる等、本県の社会教育の進展に寄与した功績は大である。

(2) 団体の部

山武市立図書館

平成18年、町村合併に伴い、3館（松尾図書館・成東図書館・さんぶの森図書館）が連携し、山武市立図書館としてサービスを開始した。幼児から大人まで、読書に親しめる環境づくりとして、ブックスタートやお話し会、各種事業の実施、読書通帳の配布などを行うとともに、学校との連携による図書館システムのフォローアップや定期的な配本サービスの実施など、学校の図書環境整備の支援を行っている。また、図書館オリンピック・パラリンピック啓発事業として、外国語を含めた異文化への関心を高めるため、関連書籍の購入及び展示コーナーの設置、英語のお話し会等を開催する等、山武市並びに本県社会教育の進展に貢献した功績は大である。

5 学校教育の部

(1) 個人の部

ア 県立学校

千葉県立千葉高等学校長 加藤 俊文

昭和59年、千葉県立実籾高等学校教諭。松戸東高等学校教諭（平成6年から松戸国際高等学校に校名変更）、清水高等学校教諭、千葉女子高等学校教諭、教育庁体育課スポーツ振興室高校総体準備班長、同競技力向上班長、松戸南高等学校教頭、教育庁体育課社会体育班長を経て、平成28年、松戸市立松戸高等学校長。その後、教育庁体育課長を務め、令和2年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、保健体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立千葉女子高等学校長 釜 菫 德行

平成元年、千葉県立浦安南高等学校教諭。佐倉西高等学校教諭、千葉県総合教育センター指導主事、教育庁教職員課管理主事、佐倉南高等学校教頭、教育庁教職員課主席管理主事、同人事室高等学校班長、同人事室長を経て、平成29年、佐倉東高等学校長。その後、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、数学科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立幕張総合高等学校長 矢 島 義文

昭和60年、千葉県立鎌ヶ谷西高等学校教諭。市川北高等学校教諭（平成23年から市川昂高等学校に校名変更）、市川東高等学校教諭、教育庁教職員課管理主事、市川北高等学校教頭、教育庁教職員課主席管理主事、同管理室長、同学校安全保健課安全室長を経て、平成28年、船橋芝山高等学校長。その後、教育庁副参事兼高校改革推進室長、現代産業科学館長を歴任し、令和2年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、数学科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立船橋高等学校長 酒 匂 一 揮

昭和60年、千葉県立成田園芸高等学校教諭（平成8年から成田西陵高等学校に校名変更）。白里高等学校教諭（平成20年から大網高等学校に校名変更）、東金高等学校教諭、教育庁東上総教育事務所管理主事、横芝光町立横芝中学校教頭、教育庁教職員課管理主事、同主席管理主事、同管理室長を経て、平成29年、大原高等学校長。その後、教育庁副参事兼高校改革推進室長を務め、令和2年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、地理歴史科及び公民科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立国府台高等学校長 菊 込 英 昭

昭和59年、千葉県立市原八幡高等学校教諭。船橋西高等学校教諭（平成23年から船橋啓明高等学校に校名変更）、八千代高等学校教諭、教育庁体育課主査、同副主幹、国体・全国障害者スポーツ大会局競技式典課副主幹、船橋古和釜高等学校教諭、松戸特別支援学校教頭、行徳高等学校教頭を経て、平成29年、白井市立南山中学校長。その後、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、保健体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立柏南高等学校長 松 田 裕 二

昭和60年、千葉県立実籾高等学校教諭。船橋高等学校教諭、都市部宅地課主査、県土整備部都市計画課主査、教育庁教職員課管理主事、流山市立南部中学校教頭、独立行政法人教員研修センター事業部研修企画課主任指導主事、同主幹、教育庁県立学校改革推進課副主幹、同教育政策課教育立県推進室長、同生涯学習課社会教育振興室長を経て、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、地理歴史科及び公民科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立成東高等学校長 新 村 浩 章

昭和60年、千葉県立生浜高等学校教諭。若松高等学校教諭、成田北高等学校教諭、成田西陵高等学校教諭、教育庁体育課副主幹、成田北高等学校教頭、教育庁体育課競技力向上班長、同主幹を経て、平成30年、富里高等学校長。その後、令和2年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、保健体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立安房高等学校長 石 井 浩 己

昭和61年、千葉県立野田北高等学校教諭（平成18年から野田中央高等学校に校名変更）。木更津高等学校教諭、安房南高等学校教諭（平成20年から安房高等学校に校名変更）、健康福祉部児童家庭課主査、同副主幹、教育庁指導課指導主事、館山総合高等学校教頭、安房高等学校教頭を経て、平成29年、館山総合高等学校長。その後、令和2年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、地理歴史科及び公民科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立君津高等学校長 堀 切 健 一

昭和59年、千葉県立松戸馬橋高等学校教諭。木更津高等学校教諭、教育庁体育課主査、幕張総合高等学校教諭、国体・全国障害者スポーツ大会局施設調整課副主幹、君津商業高等学校教諭、木更津東高等学校教頭、教育庁体育課副主幹、同主幹、同スポーツ推進室長を経て、平成30年、生浜高等学校長。その後、令和2年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、保健体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立袖ヶ浦特別支援学校長 佐藤 弘 行

昭和61年、千葉県立桜が丘養護学校教諭。千葉養護学校教諭、八千代養護学校教諭（平成19年から八千代特別支援学校に校名変更）、印旛養護学校教諭、流山おおたかの森高等学校教頭、教育庁教職員課管理主事を経て、平成27年、つくし特別支援学校長。その後、教育庁県立学校改革推進課主幹、同特別支援教育課特別支援学校整備室長を歴任し、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、特別支援教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立つくし特別支援学校長 渡邊 和 弘

昭和60年、千葉県立松戸養護学校教諭。松戸つくし養護学校教諭（平成19年からつくし特別支援学校に校名変更）、船橋特別支援学校教諭、松戸特別支援学校教頭、浦安市立明海南小学校教頭、千葉大学教育学部附属特別支援学校副校長を経て、平成29年、八千代特別支援学校長。その後、平成31年から現職。この間、学校経営に実績を上げ、特に、特別支援教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立野田特別支援学校長 西村 昭 男

昭和59年、千葉県立松戸つくし養護学校教諭。柏養護学校教諭、我孫子養護学校教諭（平成19年から我孫子特別支援学校に校名変更）、松戸市教育委員会教育研究所指導主事、松戸特別支援学校教諭、野田特別支援学校教頭、東葛飾教育事務所指導主事を経て、平成29年、湖北特別支援学校長。その後、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、特別支援教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立銚子特別支援学校長 佐々木 亮 夫

昭和62年、千葉県立銚子養護学校教諭。香取養護学校教諭、銚子養護学校教諭、千葉県総合教育センター指導主事、同研究指導主事、教育庁特別支援教育課指導主事、印旛特別支援学校教頭、教育庁教職員課管理主事、同人事室特別支援学校班長を経て、平成27年、県立富里特別支援学校長。その後、千葉県総合教育センター特別支援教育部長を経て、平成30年度から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、特別支援教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立安房特別支援学校長 堀 江 均

昭和59年、鴨川市立鴨川中学校教諭。館山市立第一中学校教諭、安房養護学校教諭、君津養護学校教諭（平成19年から君津特別支援学校に校名変更）、教育庁教職員課管理主事、生浜高等学校教頭、安房特別支援学校教頭、千葉県総合教育センター研究指導主事、館山総合高等学校教頭を経て、平成29年、榎の実特別支援学校長。その後、令和2年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、特別支援教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立君津特別支援学校長 渡辺 あけみ

昭和61年、千葉県立榎の実養護学校実習助手。同教諭、君津養護学校教諭、木更津市立畑沢小学校教諭、千葉県総合教育センター研究指導主事、館山総合高等学校教頭、教育庁生涯学習課副主幹、同指導課人権教育室長、同特別支援教育課教育支援室長を経て、平成30年、仁戸名特別支援学校長。その後、令和2年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、特別支援教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立千葉高等学校事務主幹 榎本 幸男

昭和55年、千葉県立幕張北高等学校主事（平成8年から幕張総合高等学校に校名変更）。君津農林高等学校主事（平成11年から君津青葉高等学校に校名変更）、同主任主事、教育庁社会教育課主任主事、同副主査、船橋高等学校主査等を経て、生浜高等学校事務長。その後、茂原樟陽高等学校事務長、幕張総合高等学校事務主幹を歴任し、平成31年から現職。この間、よく校長を補佐し、円滑な学校事務の運営に努め、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立幕張総合高等学校事務主幹 大野 修平

昭和60年、千葉県立館山高等学校主事（平成20年から館山総合高等学校に校名変更）。君津高等学校主事、同主任主事、磯辺高等学校主任主事、同副主査、鶴舞商業高等学校主査（平成31年から市原高等学校に校名変更）等を経て、千葉西高等学校事務長。その後、袖ヶ浦高等学校事務長、館山総合高等学校事務長、同事務主幹、市原特別支援学校事務主幹を歴任し、平成31年から現職。この間、よく校長を補佐し、円滑な学校事務の運営に努め、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立東葛飾高等学校事務主幹 鈴木 徳明

昭和58年、千葉県立国分高等学校主事。野田高等学校主事（平成18年から野田中央高等学校に校名変更）、同主任主事、我孫子高等学校主任主事、同副主査、市川養護学校主査等を経て、市川大野高等学校園事務長。その後、矢切特別支援学校事務長、流山おおたかの森高等学校事務長、同事務主幹を歴任し、令和2年から現職。この間、よく校長を補佐し、円滑な学校事務の運営に努め、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立佐倉東高等学校事務主幹 鈴木 重孝

昭和55年、千葉県立野田高等学校主事（平成18年から野田中央高等学校に校名校名変更）。匝瑳高等学校主事、同主任主事、教育庁社会教育課主任主事、同副主査、同生涯学習課主査等を経て、旭農業高等学校事務長。その後、東総工業高等学校事務長、銚子商業高等学校事務長、同事務主幹を歴任し、令和2年から現職。この間、よく校長を補佐し、円滑な学校事務の運営に努め、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

イ 市町村立学校

船橋市立葛飾小学校長 秋元大輔

昭和60年、船橋市立高根台第三小学校教諭。管内小学校教諭、船橋市教育委員会指導課指導主事、同主任主事、千葉県総合教育センター充て指導主事、文部科学省生涯学習政策局参事官付メディア係長、船橋市教育委員会総務課主査、船橋市立若松小学校教頭、船橋市教育委員会教育総務課長補佐を経て、平成25年度、船橋市立塚田小学校長。その後、船橋市総合教育センター所長、同学校教育参事兼総合教育センター所長、さわやかちば県民プラザ所長、千葉県総合教育センター所長を歴任し、令和2年度から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に情報教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

市川市立真間小学校長 鈴木孝弘

昭和59年、市川市立第三中学校教諭。管内中学校教諭、市川市教育委員会文化課主査、同指導課主査、同副主幹、市川市立中山小学校教頭、さわやかちば県民プラザ副主幹、独立行政法人教員研修センター研修課主任指導主事を経て、平成28年、市川市立大柏小学校長。その後、市川市教育委員会義務教育課学校安全安心対策担当室長、同義務教育課長を歴任し、令和2年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、美術科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

流山市立おおたかの森小学校長 西村 淳

昭和61年、松戸市立新松戸南小学校教諭。管内小学校教諭、さわやかちば県民プラザ主査、流山市教育委員会指導課指導主事、流山市立流山北小学校教頭、同鱈ヶ崎小学校教頭、さわやかちば県民プラザ副主幹を経て、平成28年、流山市立八木北小学校長。その後、流山市教育委員会指導課長となり、令和2年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に特別活動の充実に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

我孫子市立我孫子第二小学校長 吉川 廣一

昭和59年、我孫子市立我孫子第四小学校教諭。県内小学校教諭、管内中学校教諭、教育庁社会教育課指導主事、同生涯学習課指導主事、同指導課指導主事、同教育総務課主査（文部科学省初等中等教育局教育課程研修生）、同教育政策課主査、同副主幹、我孫子市立湖北台西小学校教頭、我孫子市教育委員会学校教育課長補佐、同指導課長を経て、平成24年、我孫子市立布佐小学校長。その後、教育庁指導課主席指導主事、我孫子市教育委員会学校教育課長、我孫子市立我孫子第四小学校長を歴任し、令和2年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、音楽科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

我孫子市立我孫子第四小学校長 小林 道 治

昭和60年，我孫子市立我孫子中学校教諭。管内中学校教諭，我孫子市教育委員会指導課指導主事，同学校教育課管理主事，我孫子市立我孫子中学校教頭，教育庁東葛飾教育事務所管理主事を経て，平成25年，我孫子市立湖北台東小学校長。その後，我孫子市立我孫子第二小学校長，千葉県総合教育センター主席研究指導主事，同研修企画部長を歴任し，令和2年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，社会科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

成田市立加良部小学校長 佐藤 浩

昭和59年，成田市立吾妻小学校教諭。管内小学校教諭，教育庁指導課指導主事，千葉県子どもと親のサポートセンター研究指導主事，印旛郡印旛村立宗像小学校教頭，教育庁北総教育事務所管理主事を経て，平成24年，成田市立本城小学校長。その後，富里市教育委員会学校教育課長，同参事兼学校教育課長，富里市立富里南小学校長を歴任し，平成30年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，生徒指導の充実に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

白井市立桜台小学校長 林 輝 彦

昭和60年，四街道市立四街道西中学校教諭。管内中学校教諭，白井市教育委員会学校教育課指導主事，佐倉市立白井南中学校教頭，佐倉市教育センター所長を経て，平成26年，栄町立栄中学校長。その後，千葉県立中央博物館副館長となり，令和2年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，社会科教育及び道徳科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

旭市立飯岡小学校長 常世田 敏 彦

昭和60年，銚子市立豊岡小学校教諭。管内小学校教諭，旭市立嚶鳴小学校教頭，旭市教育委員会生涯学習課社会教育主事，教育庁生涯学習課社会教育主事を経て，平成28年，旭市立滝郷小学校長。その後，教育庁生涯学習課学校・家庭・地域連携室長となり，平成31年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，社会教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

山武市立成東小学校長 内 田 淳 一

昭和59年，山武郡横芝町立横芝小学校教諭。県内小中学校教諭，山武市立緑海小学校教頭，教育庁教職員課管理主事，同人事室小中学校班長を経て，平成27年，山武市立緑海小学校長。その後，山武市教育委員会学校教育課指導室長，教育庁教育総務課委員会室長，同学習指導課長を歴任し，令和2年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，理科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した実績は大である。

九十九里町立片貝小学校長 中 村 正 浩

昭和60年，茂原市立東部小学校教諭。管内小学校教諭，横芝光町立上堺小学校教頭，教育庁東上総教育事務所指導主事，同体育課指導主事を経て，平成28年，九十九里町立豊海小学校長。その後，山武市教育委員会学校教育課長となり，令和2年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，保健体育科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

茂原市立萩原小学校長 村 澤 昭 憲

昭和61年，長生郡一宮町立東浪見小学校教諭。管内小中学校教諭，教育庁教育政策課副主幹，茂原市立茂原小学校教頭，教育庁東上総教育事務所指導主事を経て，平成27年，茂原市立新治小学校長。その後，茂原市教育委員会学校教育課主幹，同課長，茂原市立西陵中学校長を歴任し，令和2年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，社会科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

茂原市立本納小学校長 増 田 光 広

昭和57年，山武郡大網白里町立大網小学校教諭。管内小学校教諭，茂原市立東郷小学校教頭，同茂原小学校教頭を経て，平成28年，茂原市立緑ヶ丘小学校長。その後，教育庁東上総教育事務所主席指導主事，同夷隅分室長となり，令和2年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，社会科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

いすみ市立夷隅小学校長 永 石 恭 大

昭和60年，佐原市立佐原中学校教諭。管内小学校教諭，教育庁体育課主査，大多喜町立大多喜小学校教頭，教育庁東上総教育事務所管理主事を経て，平成26年，大多喜町立大多喜小学校長。その後，教育庁東上総教育事務所主席管理主事，同管理課長，同次長を歴任し，令和2年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，社会科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

いすみ市立大原小学校長 井 上 健 一

昭和60年，夷隅郡御宿町立御宿小学校教諭。千葉大学教育学部附属小学校教諭，管内小学校教諭，中央児童相談所児童福祉司，東上総児童相談所児童福祉司，勝浦市立勝浦小学校教頭，教育庁東上総教育事務所指導主事，いすみ市教育委員会主任指導主事を経て，平成27年，いすみ市立長者小学校長。その後，教育庁東上総教育事務所主席指導主事，同指導室長を歴任し，平成31年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，算数科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

館山市立館山小学校長 相 良 和 久

平成元年，千葉県立安房養護学校教諭。管内中学校教諭，館山市教育委員会学校教育課指導主事，同教育総務課業務リーダー，館山市立館山小学校教頭，教育庁南房総教育事務所指導主事を経て，平成27年，鋸南町立鋸南中学校長。その後，教育庁南房総教育事務所主席指導主事，同指導室長を歴任し，令和2年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，社会科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

市原市立五井小学校長 山 中 吉 一

平成2年，市原市立光風台小学校教諭。市原市教育委員会生涯学習部社会教育課社会教育主事，教育庁学校保健課指導主事，同教職員課管理主事，市原市立内田小学校教頭，教育庁南房総教育事務所社会教育主事，同管理主事を経て，平成25年，長南町立東小学校長。その後，市原市教育委員会学校教育課長，同学校教育部次長，同部長を歴任し，令和2年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，特別活動教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉市立登戸小学校長 柳 橋 伸 彦

昭和59年，千葉市立小中台小学校教諭。市内小学校教諭，教育庁学校保健課指導主事，商工労働部経済政策課主査，千葉市教育委員会指導課指導主事，千葉市立草野小学校教頭，千葉市教育委員会教職員課長補佐を経て，平成28年，千葉市立小倉小学校長。その後，千葉市教育委員会教育職員課統括管理主事，同課長を歴任し，令和2年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，保健体育科教育及び学校給食の指導に尽力し，本県教育の振興に寄与した功績は大である。

柏市立大津ヶ丘中学校長 佐々木 昌 文

昭和60年，柏市立柏第四中学校教諭。管内中学校教諭，柏市立田中中学校教頭，さわやかちば県民プラザ副主幹，柏市教育委員会学校教育課学校企画室副参事兼指導課副参事を経て，平成28年，柏市立西原中学校長。その後，県総合教育センター主席研究指導主事，柏市教育委員会教育研究所長を歴任し，令和2年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，社会科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

白井市立大山口中学校長 高 橋 紀 子

昭和61年，佐倉市立志津中学校教諭。管内中学校教諭，白井市教育センター室指導主事，白井市立南山中学校教頭，同大山口中学校教頭，白井市教育委員会学校教育課主幹を経て，平成27年，白井市立大山口小学校長。その後，北総教育事務所主席指導主事，同指導室長を歴任し，令和2年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，国語科教育及び道徳科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

香取市立山田中学校長 石橋博之

昭和60年、香取郡下総町立下総中学校教諭。管内中学校教諭、香取市立佐原第五中学校教頭、教育庁北総教育事務所指導主事、県総合教育センター研究指導主事を経て、平成29年、印西市立高花小学校長。その後、教育庁北総教育事務所香取分室長を経て、令和2年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、社会科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

銚子市立銚子中学校長 伊東隆

昭和59年、八日市場市立第二中学校教諭。管内中学校教諭、東庄町立東城小学校教頭、教育庁北総教育事務所管理主事を経て、平成24年、銚子市立第三中学校長。その後、教育庁北総教育事務所主席管理主事、同学校安全保健課主幹、同北総教育事務所管理課長、同次長、銚子市立双葉小学校長を歴任し、令和2年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、理科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

君津市立君津中学校長 大久保克巳

昭和60年、君津市立君津中学校教諭。管内中学校教諭、君津市教育委員会学校教育課指導主事、君津市立小櫃小学校教頭、教育庁南房総教育事務所管理主事を経て、平成27年、君津市立久留里中学校長。その後、君津市教育委員会副参事事務取扱学校教育課長となり、令和2年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、生徒指導等の充実に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

市原市立若葉中学校長 片山祐一

昭和59年、千葉県立市原養護学校教諭。管内中学校教諭、教育庁体育課保健体育主事、市原市教育委員会学校教育部指導室青少年指導センター主査、市原市立千種中学校教頭、同五井中学校副校長を経て、平成27年、長柄町立日吉小学校長。その後、市原市教育委員会生涯学習課青少年指導センター所長を歴任し、平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、保健体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

(2) 団体の部

千葉県立生浜高等学校

昭和53年開校。以来、「誠実」「協調」「努力」を校訓とし、「感じる」「考える」「行動する」「輝く」という過程のなかで、生徒の「主体的な学び」と「自己肯定感の醸成」に取り組んでいる。平成30年度から令和2年度には、文部科学省委託事業「高等学校における次世代の学習ニーズを踏まえた指導の充実事業」の指定を受け、日本語指導を必要とする生徒の教育プログラムの開発に取り組んだ。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立市川工業高等学校

昭和18年開校。以来、「研学愛理」「互助信頼」「自主明朗」の校訓のもと、誠実、謙虚な態度で、前向きに、心あるものづくりができる技術者の育成を教育目標とし、千葉県の工業教育を牽引し続けるとともに、学校教育の発展につながる事業にも意欲的に取り組んだ。平成30年度から令和2年度には、文部科学省委託事業「高等学校における次世代の学習ニーズを踏まえた指導の充実事業」の指定を受け、日本語指導を必要とする生徒の教育プログラムの開発に取り組んだ。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立木更津高等学校

明治33年開校。以来、「質実剛健」「自主自律」の校訓のもと、生涯にわたり自分を高め続け、社会に貢献できる人材の育成を目指し、多くの人材を輩出してきた。平成28年度から令和2年度には、文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール」の指定を受け、国内外の学校及び研究機関・企業等と連携して、新しい理数教育の在り方の研究を進めるとともに、地域の学校への普及に尽力している。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立銚子特別支援学校

昭和38年、銚子市立養護学校として開校、昭和54年4月に千葉県立銚子養護学校となる。以来、千葉県における肢体不自由教育及び知的障害教育の充実発展に努めてきた。平成26年度に千葉県教育委員会のセンター的機能の研究指定を受け、翌年度から地域の小・中学校へ肢体不自由の通級による指導を開始した。更に令和3年度には視覚障害、聴覚障害、病弱の通級による指導の機能を備え、本県における総合的な教育機能を有する特別支援学校の先進校として役割を發揮している。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

船橋市立三咲小学校

明治11年開校。児童の自主性を尊重し、現在は学校教育目標を「心豊かで、自ら学ぶ力を持ち、たくましく生きる子供の育成」とし教育活動に邁進している。平成29年度からは、船橋市教育委員会指定(学校体育)『主体的に取り組み、運動の楽しさを全員が味わう体育学習』～自己に適しためあてを持ち、達成できた歓びを求める学習を通して～」をテーマに3年間実践研究に取り組んだ。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

野田市立木間ヶ瀬小学校

昭和6年開校。以来、人権教育に力を入れ、社会福祉施設や幼稚園・保育所、中学校との連携を深め、地域に密着した学校づくりを推進してきた。特に、学校人権教育での取組では、生徒指導の充実とともに児童の心の成長を大切にした指導を重視し、大きな研究実績を上げている。平成30・令和元年度に「野田市教育委員会学校人権教育研究指定校」、平成30年度に「千葉県教育委員会指定 特色ある道德教育推進校」として指定を受け、学校人権教育、道德教育を推進し、市全体に広めるための公開研究会を行った。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

成田市立成田小学校

明治6年開校。平成30年度に国立教育政策研究所教育課程研究センターからの依頼で、実践研究協力校となった。研究大会に向け、地元アーティストとの連携、教科書教材の工夫等、全ての学校で取り組める図画工作科を目標に研究を進めた。また、学習指導要領における図画工作科で育成を目指す資質・能力を明確にし、評価の在り方についても研究を進めた。令和元年度に「第73回全国造形教育研究大会千葉大会『成田2020プレ公開』」を開催し、高い評価を受けた。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

四街道市立和良比小学校

平成3年、四街道市立四和小学校から分離開校。近年では道德教育において先進的な研究を推進している。平成24年度に千葉県道德教育映像教材を活用した授業公開を行った。また、令和元・2年度に千葉県教育委員会「特色ある道德教育推進校」として指定を受け、研究主題を「考え議論する道德への転換をめざした指導方法の工夫」とし、コロナ禍の中、学区小中学校と協力し研究を進めた。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

旭市立飯岡小学校

明治10年開校。以来、防災教育実践校、読書活動実践協力校等として、地域社会との連携を深めつつ先進的な取組をし、研究実績を上げている。平成30年度に千葉県教育委員会「読書活動の推進事業」確かな学びの早道「読書」実践協力校として、学校図書館司書と連携した授業実践や朝読書、読み聞かせ活動等を推進したことで、児童の読書の幅が広がるとともに、調べ学習用の図書の読み進め方を知り、意欲的に学習を進める児童が増えた。令和2年度「子供の読書活動優秀実践校」に対する文部科学大臣表彰を受けた。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

一宮町立一宮小学校

明治6年開校。以来、人間性豊かな実践力のある子どもの育成に取り組み、大きな成果を上げてきた。平成26・27年度千葉県教育委員会「地域における食育指導推進拠点校」、また、平成26・27年度N I E実践校。平成29年度千葉県教育委員会「命の大切さを考える防災教育公開事業」指定校、平成30年度「安全主任等地区別研究協議会」で実践発表、平成29年度から令和3年度は、「オリンピック・パラリンピック教育推進校」として取り組み、高い評価を受けた。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

大多喜町立西小学校

明治32年開校の大多喜町立西畑小学校及び同22年開校の同老川小学校を平成25年に統合し開校。以来、地域の学校として、「自ら学び 心身ともにたくましく 互いに高め合う児童の育成」を目指し、道徳教育と食育に重点を置いて研究実績を積み上げてきた。平成26年度には、千葉県教育委員会から「特色ある道徳教育推進校」の指定を受け、道徳授業を広く公開した。また、平成30・令和元年度には千葉県教育委員会から「地域における食育指導推進事業」の指定を受け、地区の拠点校として食育に取り組み、地域や各学校に食育推進の大切さを広めた。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉市立本町小学校

明治6年開校。以来、「人間性豊かな 自主的 創造的 実践力のある子どもの育成」を学校教育目標に掲げ、「自主 自律 自学」を校訓とし、千葉市教育研究を先導する中心的な役割を長年にわたり担っている。平成23・24年度に、文部科学省・千葉市教育委員会「学習指導（理科・生活科）」、平成27・28年度に「道徳」、平成30・令和元年度は、「教育課題（理科・生活科）」の指定を受け、提案性のある先進的な研究を進めてきた。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉市立海浜打瀬小学校

平成13年開校。以来、精力的に研究に取り組み実績を上げている。平成25年から現在にかけて、国立教育政策研究所研究協力校として国の研究に協力をしている。平成24・25年度に、千葉市教育委員会「学習指導（算数）」、平成26・27年度にも千葉市教育委員会「教育課題（算数）」、令和2・3年度においても千葉市教育委員会「教育課題（算数）」の研究指定を受け、これまでの算数学習の研究を継続、発展させ、着実に成果を積み上げている。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

船橋市立七林中学校

昭和52年開校。以来、校訓を「礼儀・自学・勤労」とし、学校教育目標「知・徳・体の調和を図り、心身共に健康で人間性豊かな生徒の育成」の実現を目指し邁進してきた。研究においては、過去に船橋市教育委員会研究指定校（教科指導・全教科）として公開研究会を行い、平成29年度からは、船橋市教育委員会研究指定（確かな学力向上）「『学びあい』を通して、自ら学び、判断し、表現する生徒の育成～主体的・対話的で深い学びを通して～」を研究主題に、3年間実践研究に取り組んだ。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

鎌ヶ谷市立第四中学校

昭和54年開校。平成30年度から3年間、千葉県福祉協議会の福祉パッケージ指定を受け、鎌ヶ谷市立南部小学校、鎌ヶ谷市立第四中学校、千葉県立鎌ヶ谷西高等学校、鎌ヶ谷市南部地区社会福祉協議会が連携して地域全体で福祉教育を推進している。「『共感・共生』すべての人と共生する社会を目指す生徒の育成～3年間の福祉教育を通して～」というテーマで、社会福祉活動の意義と役割の学習に重点的に取り組み、小・中・高への連続性という視点からも福祉教育を考える契機となる先駆的な役割を果たした。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

東金市立西中学校

平成4年開校。以来、未来を拓く心豊かでたくましい生徒の育成に取り組み、成果を上げてきた。平成24年度山武教育研究会体育部会「東金ブロック体育研究校」。平成28年度千葉県教育委員会「学校安全総合支援事業『命の大切さを考える防災教育公開事業』指定校」、平成29年度安全主任等地区別研究協議会で実践発表。平成30・令和元年度千葉県教育委員会「地域における食育指導推進事業『食育指導推進拠点校』」の指定を受け、令和元年度に実践発表。令和2年度「がん教育授業の実践研修会」として授業を展開した。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。